

## エバーグリーン第9回企画

「アラブの春」と呼ばれる変化の中にある中東地域。その現状について今回は考えてみたいと思います。エバーグリーンは過去、長倉洋海さんのアフガニスタン、高遠菜穂子さんのイラク、広河隆一さんのパレスチナと中東での戦争・紛争から平和について考えてきました。9回目の企画は、映像ジャーナリスト玉本英子さんに講演をお願いしました。

2月3日の講演では、

●イラク戦争開始から今、

私が出会った武装勢力のメンバーたち

●劣化ウラン弾の被害と思われる子どもたちは今

●イラクと日本の子どもたちが学んだこと

●被爆2世としての私。イラクで行った原爆展の様、

●震災直後の福島の町と、

バグダッドで行った震災復興支援コンサートの模様

●シリアの状況と山本美香さんについて

などについて話していただく予定です。

### 玉本英子さんのプロフィール

東京都出身。アジアプレス 大阪オフィス。

デザイン事務所を退職後、ビデオ取材を始める。クルディスタン、コソボ紛争、アフガニスタンの女性たちなど、ビデオを中心に取材、発表。

「明日起こる危機～コソボ」(テレビ東京)、

「伝統音楽に生きる～トルコ」(NHK 福岡)、

「イスラムに生きる～公開処刑されたアフガニスタン女性」(NHK 総合)、イラク武装勢力「アンサール・スンナ軍」

「イラクの聖戦アルカイダ機構」インタビュー(2005)など、テレビ中継を含めた現地リポート(日本テレビ、フジテレビ)で活躍。共著に『アジアのビデオジャーナリストたち』(はる書房)がある。



イラクでは劣化ウラン弾が原因と思われる子どもたちのがんが急増。骨肉腫で入院した13才のイブティサンさんは両親に見守られながら息を引き取った。(バグダッド2011)



イラクで行われた原爆展の写真に見入る子どもたち(ハラブジャ2006)

「エバーグリーン」は「平和」を考える市民団体として2004年に藤枝に生まれました。主な活動として、平和を考える講演会、平和を作る旅、藤枝平和展での発表を毎年、行ってきました。05年長倉洋海写真展・講演会、06年高遠菜穂子講演会、07年広河隆一写真展・講演会、08年堤未果講演会、09年山本敏晴講演会、10年四ノ宮浩講演会・映画上演会、11年足立力也講演会、12年豊田直巳講演会・写真展。何れも藤枝市教育委員会の後援を得て開催してきました。

メンバーは高校生や大学生、社会人など幅広く、世界が平和であって欲しい、戦争は嫌だと思っている人、今の世の中に何となく不安を感じ、何とかして欲しい、何とかしたいと考えている人、地域社会で何かできないかと考えている人…、どなたでも気軽に参加できます。一人の力は小さいけれど、その一人ひとりの力が集まれば、とても大きな流れをつくることができます。黙ってはその流れが涸れてしまいます。

是非、あなたの力もかしてください！